

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	胸腔子宮内膜症関連気胸における適切な術後ホルモン療法開始時期と投与期間の検討
当院の実施責任者	(所属) 気胸研究センター (氏名) 坪島 顕司
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
研究の目的	胸腔子宮内膜症関連気胸は、30～40歳代の女性に起こる稀な病気 で、日本では年間に約200例の手術が行われています。本来はお腹の中にある子宮内膜の組織が何らかの理由で横隔膜や肺の表面に出現 します。そうした病変が月経の時期に弱くなって穴があくことで、自然 気胸を繰り返すと考えられています。そのため、手術を行い横隔膜や 肺の病変部分を切除することが広く行われています。それでも術後再 発率は約30%と高率のため、より再発が少なくなる対策が求められ ています。以前当科で術後ホルモン療法の有用性を報告していますが 、適切な開始時期や投与期間については不明でした(当科ホームペ ージの論文業績をご参照ください)。そこで本研究を行うこととしま した。
研究の方法	手術を受けた患者さまの診療記録を用いて調査します。
対象となる方	2011年1月から2026年5月までに当院で胸腔子宮内膜症関連気胸に 対する初めての手術を受けた患者さま(約300名)
調査期間	西暦2026年医学研究倫理委員会承認日～2028年3月31日
使用する情報・試料	カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 (年齢、BMI、喫煙歴、病変の部位、経過観察期間、術後ホルモン療 法の種類、開始時期、投与期間、再発の有無等)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除し解析を行います。研究成果は学会や論文等で発表を予定して いますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研 究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。
試料/情報の他機関への提供 有無、および提供方法	なし
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問合せ先	公益財団法人日産厚生会玉川病院

	(所属) 気胸研究センター (氏名) 坪島 顕司 (電話番号) 03-3700-1151
備考	なし